

事業名：観光振興計画推進事業

観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市外の人

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

地方創生推進交付金を活用し、江別市観光振興計画に基づき、新たな観光商品の開発やPRによる観光誘客を図るほか、計画推進のための観光人材の育成、推進体制の検討等を実施する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	事業実施件数	件	6	6	9	6
活動指標 2	観光人材育成セミナー開催回数	回	2	2	3	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図ります。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	観光入込客数	人	915,337	1,353,315	1,190,090	1,353,315
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	13,892	13,469	10,256	8,379
正職員人件費 (B)		千円	6,094	5,339	7,687	8,515
総事業費 (A+B)		千円	19,986	18,808	17,943	16,894

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	日帰り周遊観光の推進 サイクルツーリズムの推進 観光セミナーの開催 市外プロモーション リアル謎解きゲーム 新商品開発支援 観光PRツールの作成	観光振興計画推進事業委託料	7,981千円
		観光PRツール作成費用	1,347千円
		江別市産業連携新商品等開発支援補助金	889千円

事業開始背景

江別市の交流人口を増やし、地域経済を活性化するために、実際に江別市に来てもらい、まちを知ってもらう事が重要であるため、市民・観光関連事業者・行政など江別市の観光に携わる全ての人が連携を取り合って、平成29年度に策定した江別市観光振興計画に基づき、効果的な観光振興の取組を行うものである。

事業を取り巻く環境変化

観光関連施設の新設等により、観光入込客数が増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症の影響等、観光を取巻く状況は大きく変化している。社会的な情勢では、人口減少、少子高齢化により若年労働力が低下する新たな社会構造の中で、高い付加価値を生み出すことが出来る産業振興が課題となっている。

令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>平成29年度に策定された観光振興計画に基づき、観光振興による交流人口の増加等を目的とした地域資源の活用や認知度向上に向けた情報発信、市民や市内事業者へ観光意識の醸成を図るため観光セミナー等を実施し、一定の成果を上げていたが、北海道立自然公園野幌森林公園に出没した熊や新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の観光入込客数は減少した。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>観光振興計画に基づいた事業は、市全体の観光振興・地域経済等の活性化につながるため、市民、民間、行政が役割を分担しつつ、連携を取り合い、自主的・積極的に取り組んでいくことで、更なる観光振興の向上へつながる余地がある。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>観光を取巻く状況は大きく変化しており、観光振興計画に基づく事業の推進により成果指標である観光入込客数の維持または増加を図るには、一定のコストが必要である。</p>		

事業名：地域発見魅力発信事業

観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

周辺市町村

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、江別周辺市町村への住民にPRする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	6	6	6	6
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	174,498	186,318	194,451	186,605
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	348,600	313,985	335,981	347,197

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	6,511	6,327	3,814	4,575
正職員人件費(B)		千円	6,094	6,102	6,150	6,967
総事業費(A+B)		千円	12,605	12,429	9,964	11,542

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	留学生向けバスツアー事業 SNSによる風景写真等の情報発信 ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） ノハナショウブ保存活用事業 地域おこし協力隊事業 ものづくりイベント事業	留学生向けバスツアー実施に係る経費 ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） ノハナショウブ保存活用事業 地域おこし協力隊事業 ものづくりイベント事業	179千円 37千円 614千円 2,548千円 300千円

事業開始背景
江別市は宿泊施設が少なく、日帰りで訪れる環境客が大部分を占めている。また、人口が減少しており、定住人口獲得も課題となっている。
事業を取り巻く環境変化
国の観光ビジョン策定など観光産業に関する重要度は高まっており、広域観光やインバウンド対応、地域おこし協力隊制度の活用、SNSの積極的発信など新たな事業展開が必要となってきた。また、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、マスク等の着用、ソーシャルディスタンス等の新しい生活様式に合わせた事業の実施方法が求められている。

令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	

事業名：江別アンテナショップGET'S管理運営事業 観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民及び観光客

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	119,510	119,510
対象指標 2	観光入込客数		915,337	1,353,315	1,190,090	1,353,315

手段(事務事業の内容、手法)

歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	営業日数	日	362	361	362	361
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

江別市をはじめ、姉妹都市グレスヤム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	32,486	21,108	23,708	21,108
成果指標 2	アンテナショップ来店者数(市外)	人	11,516	5,857	6,511	5,857

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	7,695	7,395	7,599	8,591
正職員人件費(B)		千円	3,047	3,814	3,844	3,871
総事業費(A+B)		千円	10,742	11,209	11,443	12,462

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	アンテナショップ管理運営 壁面黒板チョークアート	アンテナショップ管理運営委託料	7,325千円
		壁面黒板チョークアート製作委託料	100千円

事業開始背景
江別グレシャムアンテナショップとして、旧ヒダ工場の一部利活用を図ってきたが、商業施設として施設全体が活用されることに伴い、江別の魅力発信や観光案内等の新たな機能を加え、江別アンテナショップGET'Sとしてリニューアルした。
事業を取り巻く環境変化
友好都市の特産品の販売イベント等を開催することで、アンテナショップの年間の利用者は昨年度より増加しているものの、施設全体の利用者の減少に伴い、アンテナショップの利用者は横ばい傾向にある。

令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">商業施設全体の来場客数の減少により、アンテナショップの利用者は長期的にみれば減少しているものの、友好都市の特産品の販売イベント等の開催により、昨年度と比べると増加傾向にある。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	商業施設全体の来場客数の減少により、アンテナショップの利用者は長期的にみれば減少しているものの、友好都市の特産品の販売イベント等の開催により、昨年度と比べると増加傾向にある。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				商業施設全体の来場客数の減少により、アンテナショップの利用者は長期的にみれば減少しているものの、友好都市の特産品の販売イベント等の開催により、昨年度と比べると増加傾向にある。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">特産品を販売するイベント等の開催や積極的な江別の観光情報等の発信を継続することで、更なる来場者の増加が見込まれる。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	特産品を販売するイベント等の開催や積極的な江別の観光情報等の発信を継続することで、更なる来場者の増加が見込まれる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				特産品を販売するイベント等の開催や積極的な江別の観光情報等の発信を継続することで、更なる来場者の増加が見込まれる。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="2">必要最低限の委託費を計上しており、削減することは施設の管理運営に支障をきたすため困難である。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	必要最低限の委託費を計上しており、削減することは施設の管理運営に支障をきたすため困難である。	なし	
ある	理由 根拠	▶				必要最低限の委託費を計上しており、削減することは施設の管理運営に支障をきたすため困難である。	
なし							

事業名：都市と農村交流事業

【事業番号 764】
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり						
取組の基本方針	01 都市型農業の推進	具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化						
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内農業者及び市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	924	924
対象指標 2	市民	人	118,979	118,971	119,510	119,510

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	イベント開催回数	回	16	17	15	17
活動指標 2	各部会等開催回数	回	9	10	8	10

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設(農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など)の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	580,762	614,959	596,862	615,000
成果指標 2	イベント参加者の満足度	%	95	100	100	100

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	1,266	1,130	1,010	1,600
正職員人件費(B)		千円	5,333	5,339	5,381	5,419
総事業費(A+B)		千円	6,599	6,469	6,391	7,019

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助(協議会の事業内容:野菜作り講習会開催、直売所MAP作成、直売所スタンプラリー開催、収穫体験ツアー開催、加工品フェア開催など) 6次産業化支援のための農業者等への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への補助 農畜産物加工新商品開発等支援補助金 	<p>900千円 110千円</p>

事業開始背景	
<p>農業への関心を高めてもらう機会を提供する場として、産地直売所や貸し農園（観光農園）などを通じた「まち」と「むら」のふれあい交流・体験活動を行っていることと市内の産地直売所17ヶ所と貸し農園6ヶ所により、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が平成17年5月24日に設立された。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>消費者との交流を図りながら、ニーズに応えた活動を展開している。令和2年からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来とは異なる新しい生活様式などを取り入れた交流が必要となる。</p>	

令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>「グリーンツーリズム関連施設の利用者数」は、平成30年度に直売所がリニューアルオープンしたため大幅に増加しているが、令和元年度は平年並みの利用者数であった。 また、新型コロナウイルスの影響により3月に開催予定だった「農家のかあさん土曜日」が中止になったことなどから、利用者数が減少した。 なお、「イベント参加者の満足度（アンケート調査）」は、引き続き高い数値を維持している。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>すでに様々な手法での情報発信等を行っているが、今後も継続して実施していくことが重要と考える。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>各種イベント等の開催に係る必要最低限のコストで実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p>		

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり						
取組の基本方針	01 都市型農業の推進	具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化						
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	924	924
対象指標 2	市民	人	118,979	118,971	119,510	119,510

手段（事務事業の内容、手法）

〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。
 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。
 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	867	2,125	1,847	1,583
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	610	610	700	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	特産品の認知回数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	1,477	2,735	2,547	2,283
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,844	3,871
総事業費 (A+B)		千円	5,286	6,549	6,391	6,154

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> 小麦生産団体への補助 和牛生産団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 1,847千円 黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 700千円 	

事業開始背景

小麦品種「ハルユタカ」は全国的に知名度があり、特に江別産のイメージが強く、ブランド化できる品種として有望である。しかし、「ハルユタカ」は収量が不安定なことから、全道的に収穫量が減少し、これに伴って種子生産量も減少した。市内の作付面積確保には種子を自前で用意する必要がある。本事業では種子不作時の補てんを目的とした基金を設立し、種子生産拡大を誘導することによって「ハルユタカ」生産量の拡大を目指すこととした。

事業を取り巻く環境変化

黒毛和牛については、飼料価格や素牛価格の高騰、枝肉取引価格の下落等、肉牛生産農家は厳しい状況に直面している。中力系小麦品種「きたほなみ」は、パンやラーメンでは「ハルユタカ」のブレンド用粉として使用され、うどんやお菓子にも使用されている江別産小麦製品として無くてはならない品種だが、現行の国の農業政策である経営所得安定対策においては、パンや中華麺用の強力・超強力系品種への交付金に加算措置を設けるなどの作付誘導策がとられており、市内においても「ゆめちから」をはじめとした強力・超強力系品種へ作付をシフトする生産者が増加し、「きたほなみ」の収量確保が困難となる可能性が出てきた。

令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>成果指標は、すでにブランディングされている小麦「麦の里えべつ」と黒毛和牛「えぞ但馬牛」の2品目で横ばいだが、小麦で加工品に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の一定確保につながり、全道の黒毛和種の上物率（枝肉格付けA-5・A-4の割合）は70.0%に対し、江別の黒毛和種「えぞ但馬牛」は95.5%となっていることから、成果は向上していると考えられる。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>事業を継続し、小麦品種や黒毛和種の安定供給を図ることで、製品の拡大や付加価値の向上につながる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>現在の飼料価格や素牛価格の高騰、さらに、国の強力粉加算の動向等を踏まえると、市内で生産される黒毛和牛や小麦品種の安定供給には、現状の支援を継続していく必要がある。</p>		